

製品名: T3JAM ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18581**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	64kDa

抗原情報

遺伝子名	TRAF3IP3
別名	TRAF3IP3; T3JAM; TRAF3-interacting JNK-activating modulator; TRAF3-interacting protein 3
遺伝子 ID	80342.0
SwissProt ID	Q9Y228
免疫原	抗血清はヒト T3JAM 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

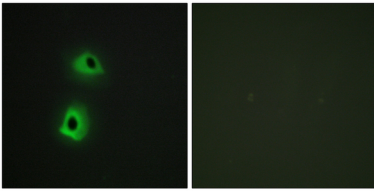
この遺伝子は、c-Jun N 末端キナーゼシグナル伝達経路を調節することで細胞増殖を媒介するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、ホスファターゼ 2A 触媒サブユニットを含む大規模な多タンパク質アセンブリと相互作用する可能性があります。選択的

スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013年12月]機能: TRAF3 を介した JNK 活性化を制御するアダプター分子として機能する可能性があります。サブユニット: TRAF3 のコイルドコイルドメインを介してイソロイシンジッパーに結合します。

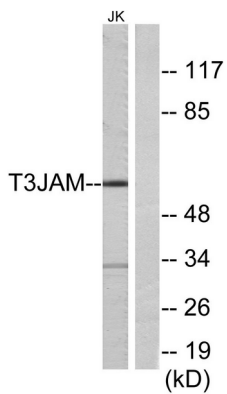
研究分野

-

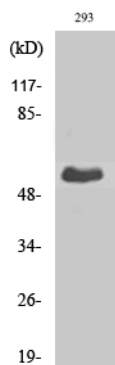
画像データ



T3JAM 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



T3JAM 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



T3JAM ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析